

令和 5 年第 3 回室蘭市教育委員会定例会
会議録

令和5年第3回室蘭市教育委員会定例会

1 日 時 令和5年3月29日（水）
開会 午後4時00分
閉会 午後5時17分

2 場 所 室蘭市役所 2階大会議室

3 本日の議事日程

日程	番 号	件 名
第1		会 議 録 署 名 委 員 の 指 名
第2		会 議 録 承 認 に つ い て
第3	報告第1号	令 和 5 年 第 1 回 室 蘭 市 議 会 定 例 会 議 事 内 容 に 関 す る 件
第4	報告第2号	室 蘭 市 教 育 委 員 会 4 月 行 事 予 定 の 件
第5	報告第3号	教 育 機 関 に 対 す る 寄 附 採 納 の 件
第6	報告第4号	室 蘭 市 教 育 支 援 委 員 会 諮 問 に 対 す る 答 申 の 件
第7	報告第5号	室蘭市教育委員会臨時代理の件（室蘭市立学校職員の人事内申の件）
第8	議案第1号	室 蘭 市 教 育 委 員 会 の 所 管 に 係 る 個 人 情 報 の 保 護 に 関 す る 法 律 施 行 細 則 制 定 の 件
第9	議案第2号	室 蘭 市 い じ め 防 止 対 策 審 議 会 委 員 の 解 嘱 及 び 委 嘱 の 件
第10	議案第3号	室 蘭 市 民 美 術 館 条 例 施 行 規 則 中 一 部 改 正 の 件
第11	議案第4号	室 蘭 市 教 育 委 員 会 事 務 局 職 員 等 の 人 事 発 令 の 件

4 出席委員 伊藤教育長 稲川委員 定廣委員 古谷委員 増川委員

5 説明員 坂口教育部長 西舘教育部次長 高田教育指導参事
椎名指導主事 棟方指導主事 船橋総務課長補佐
山口学校教育課長 山崎生涯学習課長 佐藤生涯学習課主幹
伏見図書館長 本野学校給食センター所長

伊藤教育長

ただ今から、令和5年第3回室蘭市教育委員会定例会を開会いたします。

日程第1「会議録署名委員の指名」を行います。本日の会議録署名委員に古谷委員を指名いたします。

次は、日程第2「会議録承認について」であります。

令和5年第1回、第2回定例会会議録は、先日委員の皆様以案として配布いたしております。

配布案のとおり、承認することにご異議ありませんか。

(異議なし)

伊藤教育長

ご異議がありませんので、承認いたします。

次は、日程第3「報告第1号 令和5年第1回室蘭市議会定例会議事内容に関する件」を議題いたします。事務局の説明をお願いします。

坂口教育部長

それでは「令和5年第1回室蘭市議会定例会議事内容に関する件」について、ご説明いたします。報告第1号別紙をご覧ください。このたびの第1回市議会定例会は、2月27日から3月23日までの会期25日間で開催されたものでございまして、代表質問は、5人中4人から、一般質問は、6人中5人の議員から教育行政に関わる質問がありました。質疑の議事内容は、配布資料に記載しているとおりですが、時間の関係上、主な質問項目の概略を説明させていただきます。

はじめに代表質問です。1ページから2ページは、市政結和の早川昇三議員からの質問で、入江運動公園陸上競技場などについての質問があり、陸上競技場については、競技者の活動の場として必要な施設であり、胆振・日高圏域唯一の2種公認競技場としての役割から更新が必要と判断した旨、利用者、競技団体からも公認記録が取得できる公認継続の声が多くあったこと、また、存廃検討施設との違いについて、20年以内に目標使用年数をむかえる施設について存廃検討を実施したもので、陸上競技場は目標使用期限が令和32年であり、20年以上継続使用が可能な施設である旨、などを答弁しております。

3ページから4ページは、市民ネット・むろらんの水

江一弘議員からの質問で、旧絵鞆小学校円形校舎についての質問があり、令和元年に解体費の補正予算議決後に、解体をせずに市民団体に売却したことの市長の認識について、市民団体のクラウドファンディングなどによる資金が集まったこと、補修により当面の課題であった地域の安全性が確保される見通しがたったこと、市民団体の皆さんと直接お話し、その熱い思いに応えるために、慎重に考えて判断し、決断した旨、などを答弁しております。

5 ページから 10 ページは、公明党室蘭市議会の細川昭広議員からの質問で、入江運動公園陸上競技場、だんばらスキー場、登別市との学校給食センターについての質問があり、陸上競技場について、令和5年度の当初予算に予算計上することになった経緯については、日本陸連のトラック等の土台から改修が必要との指摘により、当初計画から大幅な費用の増大、工期の長期化が想定される中で、改修内容、スケジュール等についてさまざまな方法を検討し、最終的に12月に日本陸連に出向き協議を行ったが、公認継続には令和5年度中の改修が必要との指摘を受けたことから、令和5年度の当初予算に計上した旨、改修による効果等については、2種公認の優位性を活かし、道内から多くの選手等が来蘭する経済効果のほか、合宿、大会の誘致、令和6年度、7年度に開催予定のインターハイ女子サッカーのその後の開催にも期待している旨、だんばらスキー場について、当面の営業継続への見解について、12月に示した令和8年度末での廃止を考えているが、今後、冬のアクティビティを楽しめる場としての活用などを検討していく旨、給食センターについて、建設候補地について民有地も視野に検討していく旨、建設用地の確定後、災害時対応の機能等の必要性や費用対効果等について、登別市と協議する旨、などを答弁しております。

11 ページから 14 ページは、日本共産党室蘭市議団の田村農夫成議員からの質問で、少人数学級、全国学力テスト、給食費無償化などについての質問があり、小学校は令和6年度には全ての学年で35人学級となるが、中学校は国において検討段階である旨、全国同一条件で行われる全国学力・学習状況調査から得られる客観的な

データにより課題を把握し、学校の教育指導の改善・充実を図っている旨、給食費については、財源確保、長期的な視点など、慎重な判断が必要である旨、などを答弁しております。

続きまして一般質問です。15ページから18ページは、市政結和の岡田健一議員からの質問で、小1プロブレム、中1ギャップ、部活動の地域移行についての質問があり、こども未来指針に基づく「小中一体となった教育」、「家庭、地域が参画して学校と一体となった教育」を進めていくことが解消に向けて重要と認識している旨、幼保小中連携について、まずは中学校区ごとのコミュニティスクールを活用しながら見据えていく旨、幼稚園、保育所からの引継ぎシートについては、先進地等も参考に研究する旨、部活動の地域移行については、大会参加要件や関係者の意見を踏まえ、体制の整った競技種目から取り組みを進め、令和5年度は教職員や競技団体等への聞き取り、子ども達のニーズ調査を行い、方向性を示す中で、令和6年度の新チームへの移行を想定して準備を進めていく旨、などを答弁しております。

19ページから22ページは、市民ネット・むろらの滝口紘子議員からの質問で、ジェンダー平等などについての質問があり、男女平等参画基本計画について、6月中に骨子をまとめ、12月を目途に素案を作成し、令和6年3月に策定予定である旨、同性婚については、国において課題の洗い出しなどが行われるものと考えているが、誰もが自分らしく暮らせる社会に向け理解を深めることが重要と考える旨、パートナーシップ制度については、令和6年度の制度導入を目途に、検討委員会を立ち上げ、当事者なども交えて方向性を検討していく旨、などを答弁しております。

23ページから26ページは、市民ネット・むろらの佐藤潤議員からの質問で、白鳥台地区の義務教育学校についての質問があり、地域の活性化に向けた学校のあり方について、コミュニティスクールを土台に、地域の方に子どもたちへの関わりや支援を通して、やりがいを感じてもらうなど、地域と協働していく旨、小中一貫教育の取り組みを全市的に広げる考えについては、施設一体型、施設分離型と校舎の形は異なるが、全市一斉に「9

年間を貫く小中一体となった教育」について、令和5年・6年を準備期間に、令和7年度からスタートさせたいと考えている旨、などを答弁しております。

27ページは、市政結和の金濱元一議員からの質問で、中島地区公園整備に関して、野球場の移転についての質問があり、令和5年度に実施する民間活力導入可能性調査の状況を踏まえるとともに、利用団体、競技団体と協議しながら進める必要がある旨、を答弁しております。

28ページから35ページまでは、日本共産党室蘭市議団の常磐井茂樹議員からの質問で、子どもの学習費調査、就学援助制度、給食費の無償化などについての質問があり、学習費調査では、塾や習い事などの学校外活動費の保護者負担が大きく、学校教育に関する経費では給食費の割合が大きい旨、就学援助制度の認定率が全道、全国より低いことから、該当になる方には確実に受けていただくことに注力し、学校と協力した制度の周知徹底体制の強化に努める旨、給食費については、今後も、社会情勢や財源確保の観点から、適宜、慎重に判断していく旨、などを答弁しております。

説明は、以上でございます。

伊藤教育長

ただいまの説明に対しまして、ご質問等は、ありませんか。

稲川委員

小1プロブレムなど、解消に向けた取り組みを行った結果、減少している実態はありますか。また、数値化し、分析を行っていますか。

椎名指導主事

数値としては、まだお示し出来ない状況ですが、幼保小の間で丁寧な引き継ぎを行い、実際に幼稚園の先生が学校に、小学校の先生が幼稚園に出向き顔を合わせる機会が非常に増えているというお話しは伺っております。そういった所から、今後成果として報告出来ればと考えております。

稲川委員

取り組み自体は良いことだが、それをしっかりと分析し、こういった成果が出ているということを行なった方が良いと思う。

伊藤教育長

事務局より、この件について補足等がありますか。

高田教育指導参事

小1の落ち着かない行動ですが、年度によっても学校によってもバラバラです。課題としては、幼稚園・保育所から小学校へ引き継ぐ際、引き継ぎシートの違いや伝える内容のばらつきがあるため、答弁にもありましたが、先進地を参考にして市内で統一しようかと考えている所です。

稲川委員

30ページのオンライン学習の負担の事で、ご家庭のインターネット普及率は約98パーセントと書いてありますが、親の持っているスマホもインターネット環境として含まれているのでしょうか。

椎名指導主事

この調査の約98パーセントは、いわゆるスマホ等を使ったテザリングと言われる光回線を使用しない携帯電話のインターネット回線も含めた数値です。従ってオンライン学習を進めて行く段階で、ご家庭によっては、ネット環境の問題で少し使用しにくいということもあるかと思いますが、使用が難しいご家庭に対し、各学校にすぐに貸し出せるルーターを準備しております。まずはご家庭でネット回線が整うまでの期間、ルーターをご使用いただき、ご家庭のネット環境の整備を進めていただきたいと思います。

坂口教育部長

補足ですが、オンライン学習について、次年度より1人1台端末をご家庭に持ち帰っていただき、学習をしてもらうことを考えております。よって、ご家庭にパソコンがなくても市で貸し出したルーターと端末を持ち帰っていただければ、ご家庭で学習が出来ます。また、就学援助の費目にも年間1万4千円の通信費を入れており、経済的に苦しいご家庭については、サポートしていくという形となっております。

稲川委員

100%でなければいけない訳で、残りの2%をどうするのか聞きたかったので、対応については、今の説明でわかりました。

増川委員

今のインターネットのお話しですが、個人的な意見として、もう少しきめ細やかに見て欲しいと思います。実際テザリングすると通信料が結構かかります。生活費の中でどこを削るかとなった場合、今は真っ先に携帯料金を削ります。自宅に端末を持ち帰ったときに動画等をダウンロードする場合、それなりのスピードと情報量が必要となります。インターネット普及率と言うと、稲川委員の言うとおりの完璧な環境を考えますが、学校側が提供しようとしているものに見合った通信環境が実際にあるのか。先ほど年間1万4千円というお話しありましたが、絶対に足りないと思いました。ですので、もっと細かいシュミレーションをしてあげないと、結局環境の部分についていけない子ども達が出てくるのではないかと心配になりました。色々と素晴らしい取り組みをされていると思いますが、今一步細かい部分を見ていただけるとありがたいです。

椎名指導主事

次年度より始まります端末の持ち帰りですが、2つのシチュエーションを想定しております。まず1つ目が、日常の宿題や予習に端末を活用していく使い方です。例えば、放課後に動画で先生が授業を配信するとなると、今度は先生の負担が大きくなり本末転倒になりかねないので、出来るだけデジタルドリルの活用やネットワーク上にあるドリル教材を普段は活用することになると思います。その場合のデータ通信量は、ひと月1ギガ程度で十分収まると想定しております。その一方で、今後再びコロナウイルスが流行り、平日のオンライン授業を行う事態になった場合、実際に通信量が一時的に上がることが想定されます。そういった状況になった際は、データ量が足りなくなるようなご家庭にはすぐにルーターを貸し出しするなど学習が途切れないような形での保障は続けていきたいと考えております。ご意見ありがとうございます。

増川委員

ありがとうございます。凄く安心しました。確かにテキスト的な物であれば、それほどにデータ量はないかなと思います。逆にそれならば、紙で良いのではと思ってしまいます。オンラインで出来るからこそそのメリットを

活かす方向で、様々なアプリや動画、生中継は先生方が大変だと思いますが、録画すればそれを流すことは出来るので、予算が先にありきで出来ることをやれば良いではなく、良いものがあるのであれば、それを予算要求するという事を考えていただくと、教育に携わる身としては安心感があります。

伊藤教育長

力強いご意見ありがとうございます。

ほかに、ありませんか。それでは、報告第1号は終了します。

次は、日程第4「報告第2号 室蘭市教育委員会4月行事予定の件」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

船橋総務課長補佐

報告第2号「室蘭市教育委員会4月行事予定の件」のうち、主なものにつきまして、ご説明いたします。次のページの報告第2号別紙をご覧ください。

はじめに、学校教育課でございます。6日に各小中学校で一学期始業式が、6日から7日まで各小学校で入学式が、7日に各中学校で入学式が予定されております。次に、生涯学習課でございます。はじめに社会教育では、13日に「令和5年第2回社会教育委員の会」が開催されます。次の民俗資料館では、23日に「しいたけ植菌体験学習会」が開催されます。次の市民美術館では、月を通して「駒澤静秀書展」が開催されます。次のDENZAI環境科学館では、1日に「携帯電話を分解してみよう」が、23日に「おもちゃの病院」が開催されるほか、「スポットサイエンス」が随時開催されます。次のスポーツでは、3日に「フィジカルプラス」が、4日に「レッツスポーツ」が開講されます。次の図書館では、1日と29日に「おはなし会」が、16日に「英語のおはなし会」が、22日から30日まで「読書週間特別展示 Love! 恐竜&古生物」が、27日に「親子読書ふれあい事業（ブックスタート）」が、30日に「読書週間行事 うたってあそぼう ととけっこう」が開催されます。説明は以上でございます。

伊藤教育長

ただいまの説明に対しまして、ご質問等は、ありませ

んか。それでは、報告第2号は終了します。

次は、日程第5「報告第3号 教育機関に対する寄附採納の件」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

船橋総務課長補佐

報告第3号「教育機関等に対する寄附採納の件」について、ご説明いたします。次のページの報告第3号別紙をご覧ください。寄附採納は4件ございまして、1件目は、一般社団法人室蘭地区自動車協会会長岩崎忠様より、防犯ブザー660個、金額にいたしまして50万円相当の寄附をいただいたもので、児童の登下校時の安全確保のために活用させていただきます。2件目は、山崎優様より、西村貴久子作の絵画5点、金額にいたしまして135万円相当の寄附をいただいたもので、室蘭市の芸術文化振興のために活用させていただきます。3件目と4件目は、ふくろうの会様より、図書9冊、金額にいたしまして、10万円相当、また、図書5冊、金額にいたしまして、同じく10万円相当の寄附をいただいたもので、それぞれ読書普及のために活用させていただきます。説明は以上でございます。

伊藤教育長

ただいまの説明に対しまして、ご質問等は、ありませんか。それでは、報告第3号は終了します。

次は、日程第6「報告第4号 室蘭市教育支援委員会諮問に対する答申の件」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

坂口教育部長

報告第4号「室蘭市教育支援委員会諮問に対する答申の件」についてご説明申し上げます。本件は、室蘭市教育支援委員会における児童生徒の就学先に関する審議結果につきまして、昨年11月15日の定例会でのご報告以降の会議での判定内容について、ご報告するものでございます。

次ページの報告第4号別紙をご覧くださいと思います。上段の表の在学児童・生徒の判定結果でございしますが、40名が新たに判定を受けており、同様に、中段の表の初就学児童は11名が新たに判定を受けております。また、判定結果の内訳はご覧の通りですが、今年度

の受診総数は合計 2 6 6 名でございまして、昨年度の受診総数 2 2 3 人から 4 3 人の増となっております。説明は以上でございます。

伊藤教育長

ただいまの説明に対しまして、ご質問等は、ありませんか。増えているのは、間違いないですか。

坂口教育部長

若干増えているのは間違いないですが、増えているのは情緒で、近隣市や全道平均よりも若干割合が高い状況で、相対的な人数も増えています。丁寧に判定させていただいているという事、児童に対し支援員を配置するなど、きめ細やかに対応することで人数が増えていることはあると思います。増えることが悪いことではないですが、増える原因を分析することは中々難しい現状があります。

伊藤教育長

スタートカリキュラムですとか、幼稚園や保育所、小学校との連携の中で課題を抱えているお子さんを早めに発見して、適切な対応を取ることで、通常学級の生活に馴染んでいただくということをしていけば、人数が減って行く可能性もあるのかなとは思っています。

増川委員

確かに色々な事情が絡むので、原因分析は難しいと思いますが、子どもは全体的に減少していて、この増加率は正直多いと思っています。ただ、増えることは悪い事ではなく、逆に本来支援が必要な子たちをすくい上げているという、学校側の成果かもしれないですし、そうであれば、どんどんそういった取り組みをすべきだと思います。

稲川委員

参考の 2 を見ていただくと、平成 2 5 年から突然情緒の子達が増えています。現在の室蘭市は 5, 6 パーセントで確かに相対的には増えてます。ただ、全国的な調査で ADHD 等の障がいをお持ちのお子さんは大体 5 ~ 6 % と言われています。あまりにも全道平均・近隣市とは違いますが、徐々に全道の数字も増えてきています。就学時健診での判定基準が室蘭市が特別厳しいのか聞いてみましたが、ほぼ納得の出来る判定基準でした。市内

の各地域によって環境因子があるのか、親の状況等、色々な原因が考えられますが、それを分析するとなると相当な疫学的な調査になるので、難しいかもしれません。ただ、年度毎にその子どもにとって何が1番大切な教育かというところを、教育委員会がしっかり把握、対応していれば良いのかなとは思っています。

伊藤教育長

ほかに、ありませんか。それでは、報告第4号は終了します。次は、日程第7「報告第5号 室蘭市教育委員会臨時代理の件（室蘭市立学校職員の人事内申の件）」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

坂口教育部長

報告第5号「室蘭市教育委員会臨時代理の件（室蘭市立学校職員の人事内申の件）」について、ご説明申し上げます。本件につきましては、令和5年4月1日付けの室蘭市立学校職員の人事発令に係る内申について、教育委員会臨時会を招集するいとまがないことから、令和5年3月3日に室蘭市教育委員会教育長に対する事務委任等規則第3条第1項の規定により、教育長がこれを臨時代理したものであり、同条第2項の規定により報告するものでございます。

次に、臨時代理の内容でございしますが、報告第5号別紙の令和5年度室蘭市立学校職員人事異動内申書をおめくりいただきますと、最初のページが校長の人事異動内申書でございします。この内申書の表の見方でございしますが、一番左の列が今回異動対象となる学校名、次の転出と記載された列が校長の退職又は転出先、転入と記載された列が、後任の校長の前任校や氏名等でございます。例えば、中程の蘭北小ですが、村山校長がみなと小へ市内異動となり、後任の校長には喜門岱小の小野校長が配置されることとなります。校長の人事異動ですが、定年退職が3人、行政転出が1人となり、代わって、市外からの転入が2人、市内異動が4人、市内での校長昇任が1人、行政からの校長昇任が1名となります。

続いて、次のページの教頭人事異動でございします。教頭の人事異動ですが、市内での校長昇任1名、市内異動が3人、行政転出が1人となり、代わって、市外からの転入が1人、市内異動2人、行政からの教頭昇任2人と

なります。

次ページからは、一般教職員の異動となりまして、小学校教諭、中学校教諭、養護教諭、事務職員につきましてはご覧のとおりとなっております。説明は以上でございます。

伊藤教育長

ただいまの説明に対しまして、ご質問等は、ありませんか。それでは、報告第5号は終了します。

次は、日程第8「議案第1号 室蘭市教育委員会の所管に係る個人情報の保護に関する法律施行細則制定の件」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

船橋総務課長補佐

議案第1号「室蘭市教育委員会の所管に係る個人情報の保護に関する法律施行細則制定の件」について、ご説明いたします。はじめに、議案第1号の下段の提案理由をご覧ください。本件は、個人情報の取扱いについて全国的な統一ルールとする制度見直しに伴いまして、個人情報の保護に関する法律の一部改正のほか、室蘭市個人情報保護条例が廃止されますことから、教育委員会における個人情報の保護に関する法律の施行につきまして、新たに規則を設けるものでございます。次に、議案第1号参考資料3をご覧ください。これは、個人情報保護制度見直しの全体像になります。これまでは、地方公共団体は、それぞれが策定した個人情報保護条例により、個人情報の取扱いについて、個別の規制がなされてきましたが、社会全体のデジタル化に対応した個人情報保護とデータ流通の両立、個人情報保護に関する国際的な制度調和と成長戦略への整合性などから、統一ルールとして、制度の全体像が右側の見直し後のとおりとなり、地方公共団体は、個人情報保護条例ではなく、新個人情報保護法の適用を受け、全国統一ルールにより個人情報の取扱いを行うことになります。次に、議案第1号参考資料1をご覧ください。これは、これまでの室蘭市教育委員会の個人情報取扱いのための規則で、今回、新たな規則制定により廃止するものでございます。これまでも市長部局で定めている室蘭市個人情報保護条例施行規則の例によるとの定めを設け、具体的な取扱いについては、市長部局と同様の取り扱いをすることとしていたものでござ

います。それでは、議案第1号に戻っていただき、規則の内容でございますが、室蘭市教育委員会が取り扱う個人情報に係る個人情報の保護に関する法律の施行については、同法施行令、同法施行規則、室蘭市個人情報の保護に関する法律施行条例に定めるもののほか、室蘭市個人情報の保護に関する法律施行細則の例によるとの内容でございます。文字どおり、統一ルールである個人情報の保護に関する法律の施行について、市長部局と同様の取り扱いをすることを定めた内容となっております。次に、議案第1号参考資料2をご覧ください。これは、今回、制定する規則により、例によるとしている市長部局の規則で、個人情報保護に関する法」等に定める手続きの書面様式や、本人確認書類、電磁的記録の開示方法などを定めているものでございまして、教育委員会も、この手続き等の例によることとするものでございます。説明は以上でございます。よろしくご審議賜りますよう、お願い申し上げます。

伊藤教育長

何が変わったのか、簡単に説明してください。

坂口教育部長

A4横の資料をご覧ください。現行は左側の各地方公共団体で、個人情報保護条例を国より先に地域に合った条例を作っていました。

これからは、デジタル化に対応した個人情報保護とデータ流通の両立を実現するために、以前はばらばらだった条例を国が法律を作るために廃止し、見直し後の統一ルールで取扱うため、個人情報の体系が4月から変わります。今まで室蘭市は個人情報保護条例に基づいていたため、教育委員会も条例に基づく取扱いについて市長部局の例によるとという規則を作っていました。今回の改正で、法令に基づく取扱いについて市長部局の例によるとという規則を新たに作ります。この規則自体は、市長部局と同じ扱いにしますというものですが、根本にある個人情報の取扱いルール自体はかなり大きく変わります。

伊藤教育長

マイナンバーカードと繋がっている部分もあるのでしょうか。

坂口教育部長

オンライン結合制限といって、個人情報インターネット上で個人を識別できるものを一切設けてはいけないという条例の規制を設けている自治体が多く、それを規制しているとマイナンバー制度などが進まなくなるのですとか、以前住基カードが出来た際、全国で住基ネットをする為に、オンライン結合制限を条例で規制している自治体に対し総務省より、その条例を削除するよう通知がありました。室蘭市ではすぐ削除したわけではなく、大分長いことオンライン結合制限を行ってききましたが、時代の流れといいますか、オンラインでやりとり出来ないと不便が生じてしまい、オンライン結合制限を廃止した経緯があります。いまだにオンライン結合制限が残っている自治体もあると思いますが、その場合、その自治体が時代に取り残されるというのもあります。各自治体が先んじて行ってきた個人情報保護ですが、国がグローバルスタンダードへと近づけていこうとすることで、自治体の裁量を奪われてしまったところはあるかもしれませんが、やむを得ない時代の流れなのかなとは感じています。

伊藤教育長

ほかに、ありませんか。ないようでしたら、議案第1号は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(異議なし)

伊藤教育長

ご異議がありませんので、原案のとおり可決いたします。

次は、日程第9「議案第2号 室蘭市いじめ防止対策審議会委員の解嘱及び委嘱の件」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

坂口教育部長

議案第2号「室蘭市いじめ防止対策審議会委員の解嘱及び委嘱の件」についてご説明申し上げます。本件は、令和4年7月1日から2年間の任期で委嘱した室蘭市いじめ防止対策審議会委員の一人より解職願いが提出されたことから、次のページの議案第2号別紙の名簿のとおり、その委員を解嘱し、新たに委員を委嘱しようとしてご提案申し上げるものでございます。室蘭市いじめ防止対策

審議会の委員は、議案第2号参考に記載のとおり、室蘭市いじめ防止対策審議会及び室蘭市いじめ調査委員会条例の第3条の規定に基づき、医療関係者、学識経験者、いじめの防止等に関する知見を有する者、その他教育委員会が適当と認める者の中から委嘱することとしており、このたび、第一号委員の医療関係者として委嘱していた松崎史織氏より解嘱願いが提出されたことから、後任として、一般社団法人北海道精神保健福祉士協会より推薦のあった佐藤武大氏を新たに委嘱しようとするものでございます。なお、後任者の任期につきましては、同条例第4条のとおり、前任者の残任期間である令和6年6月30日までとなります。説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

伊藤教育長

ただいまの説明に対しまして、ご質問等は、ありませんか。ないようでしたら、議案第2号は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(異議なし)

伊藤教育長

ご異議がありませんので、原案のとおり可決いたします。

次は、日程第10「議案第3号 室蘭市民美術館条例施行規則中一部改正の件」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

山崎生涯学習課長

議案第3号「室蘭市民美術館条例施行規則中一部改正の件」についてご説明いたします。議案第3号次ページをご覧ください。本件は室蘭市民美術館条例の改正により、オープンギャラリーの使用に合わせて、常設ギャラリーを使用させる場合の上限日数、使用許可申請手続き、様式等について定めるものです。前ページに戻ってご覧ください。使用許可の日数ですが、常設ギャラリーを使用する場合におきまして原則として、その年の開館日数の3分1を乗じ得た数を超えないものとする。但し、当該使用における展示会の内容等が市民の文化芸術の振興と認められる場合は、これに限りません。他にオープンギャラリーを使用とするものの説明の中に、常設ギャラリー

を含むという文言を追加しております。申請書におきましても、オープンギャラリーの申請をオープンギャラリー一等と変更しています。説明は以上です。

伊藤教育長

ただいまの説明に対しまして、ご質問等は、ありませんか。

増川委員

5条の2のただし書きの部分ですが、当該使用における展示会等の内容が、市民の文化芸術の振興に資すると認められる場合はこの限りではないとありますが、このただし書きの要件に該当するかどうかの認定機関はどこになりますか。

山崎生涯学習課長

本市の生涯学習課になります。

増川委員

わかりました。

坂口教育部長

3分の1を超えることはないと思いますが、3分の1を超えてもやらなければいけないことになった場合、教育委員会で責任を持って審査させていただきます。

伊藤教育長

オープンギャラリーと常設ギャラリーの違いについてはご理解いただいておりますか。簡単に言えば、広くオープンギャラリーをひとつにして貸出しが可能ということによろしいですか。

山崎生涯学習課長

はい。

伊藤教育長

ほかに、ありませんか。ないようでしたら、議案第3号は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(異議なし)

伊藤教育長

ご異議がありませんので、原案のとおり可決いたします。

次は、日程第11「議案第4号 室蘭市教育委員会事務局職員等の人事発令の件」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

坂口教育部長

議案第4号「室蘭市教育委員会事務局職員等の人事発令の件」についてご説明いたします。議案第4号・別紙をご覧ください。

はじめに「1. 退職発令」でございます。高田教育指導参事、椎名指導主事の2名が退職となっております。なお、高田教育指導参事は、室蘭市立港北中学校の校長として、椎名指導主事は、室蘭市立地球岬小学校の教頭として4月から勤務する予定となっております。次に「2. 特別職発令」では、教育部長の伊藤博明が、教育長となっております。28日に市議会において同意されたところでございます。次に「2. 採用発令」では、室蘭市立本室蘭中学校教頭入村貴行が、教育部教育指導参事として、室蘭市立みなと小学校教諭の山本伸也が、教育部指導主事としてそれぞれ採用となっており、「3. 部次長職兼職発令」において、入村教育指導参事が教育研究所長を兼職、「4. 課長職兼職発令」において、山本指導主事が教育研究所主任所員を兼職いたします。次に「5. 課長職発令」では、総務課課長補佐の船橋晶が、総務課課長に昇任となっております。次に「6. 課長職事務取扱」では、教育部長坂口淳の総務課長事務取扱が解かれます。次に「7. 係長発令」では、企画財政部市税課市民税係長の久末晶子が生涯学習課主査として、転入となります。次に「8. 係員発令」では、総務課総務係の林麻希子が室蘭市へ出向し、港湾政策課振興係に、また、新採用として吉田夏綺が総務課総務係となっております。なお、退職発令が3月31日付、ほか全てが4月1日付の発令となっております。説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

伊藤教育長

ただいまの説明に対しまして、ご質問等は、ありませんか。ないようでしたら、議案第4号は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(異議なし)

伊藤教育長

ご異議がありませんので、原案のとおり可決いたします。以上で、本日の日程は、全部終了いたしました。これをもちまして、令和5年第3回室蘭市教育委員会定例

会を閉会いたします。

本委員会の記録に相違ないことを証するため、ここに署名する。

室蘭市教育委員会教育長 伊 藤 博 明

室蘭市教育委員会委員 古 谷 昌 美

会 議 録 調 製 員 坂 口 淳